

～ 第26回「七夕まつり」と日めくりカレンダー制作 ～

地域の風物詩として定着している七夕まつりのほか、夕市を開催して商店街活動をアピールした。また、子どもの絵と商店街会員店舗のお得な情報を掲載した日めくりカレンダーを作成し、若い世代を中心に来街を促した。

所在地：大阪府枚方市宮之阪1-20-4

TEL・FAX：072-848-4298

URL：<http://www.eonet.ne.jp/~mivanosaka/>

組合員数：166名

商店街の類型：地域型商店街

商店街の概要と事業を実施した背景

宮之阪中央商店街は、京阪宮之阪駅から禁野にかけて900mの街区を有し、大型スーパー、飲食、サービス等地域の生活に密着した店舗で構成される枚方市最大の商店街である。近年、既存客の高齢化や競合大型店の影響で売上が減少しており、近隣の大学の学生や、新たに増えつつあるファミリー層を取り込むことが課題となっている。そこで若い世代に商店街と個店を知って頂くため、恒例の七夕まつりに加えて新たなイベントを実施し、日めくりカレンダーを作成した。



実施した事業の概要

①七夕まつり事業

当商店街では、近くを天野川が流れ、隣接する交野・枚方も含めた付近一帯が平安時代から七夕伝説発祥の地とされていることから、一年を通して七夕の街としてのブランドづくりをしている。なかでも七夕まつりは年々訪れる人数も増えている大イベントで、街の通りを140本の笹飾りと吹き流しで飾り、地域住民や小学生などの短冊約1万枚を飾り付け華々しく開催した。会場内では模擬店・縁日のほか、大阪工業大学などのグループによるジャグリング、キッズダンス、中宮中学校吹奏楽部のミニコンサートなどを、会場周辺では『七夕灯路』（1000個の灯火）や灯籠流しを実施した。この結果1万名を超える集客があり、七夕の街のイメージを広くアピールできた。



②夕市事業

商店街の駐車場に子供向け縁日スペースや屋台を設け、「子供のあそび場&大人の社交場」として2回開催した。「ゆるーい感じ」を呼び文句に実施し、七夕まつりとは違った身近な雰囲気、小さな子供連れの家族や通勤・通学客等に商店街活動や店舗を知ってもらうことができた。



③日めくりカレンダー事業

七夕まつり会場や地域の幼稚園・小学校の協力で集めた500枚を越す絵から365枚を選び、商店街の店舗のお得な情報とともに掲載した日めくりカレンダーを制作した。商店街のほか、11月の夕市でも配布したところ、子供の絵が好評で若いファミリー層を中心に来街を促すことができた。

成果と成功の要因



今回の事業により、七夕の街というイメージがさらに定着し、「0才から100才までのお客様に愛される商店街」としての魅力を広くアピールしたことで、従来からの顧客である中高年の主婦層だけでなく、若い世代や通勤・通学客の来街が増加した。

今回の事業の成功は、第一に青年部や若い経営者等若手の積極的な活動により組織が活性化したことによる。青年部は独自に試食めぐりを開催するなど積極的に活動しているが、平成26年3月に参加した商店街フォーラムでのクーポン付カレンダーの事例研究の成果が日めくりカレンダー事業に活かされた。また、七夕まつりを長年継続してきた地域団体や他の商店街との協力が得られ、スムーズに事業が行えたことも成功の一因と考えている。

今後の取り組み

七夕まつりは、25年間継続してきたことから、商店街が地域コミュニティの拠点として認知され街の活性化に貢献している。来年度以降も地域各諸団体と連絡会を設置し、地元自治体等とともに地域歴史資源である「天の川」を生かした取り組みを実施して、年間を通して七夕の街のブランドづくりを進めていく予定である。事業を継続して実施するための資金については、地域団体に分担をお願いしたり、枚方市活性助成金などを利用するほか、空き店舗を利用したチャレンジショップ『ミルクキーウェイセンター』の運用収益を充てることを考えている。